

令和2年度外部評価資料

		担当部課	福祉部福祉課
番号	48	事業名	障がい者福祉事業
選定意図	障がい者タクシー料金助成金(タクシーチケット)について、一律52枚給付している妥当性を検証し、その目的の再確認を行う予定であるため、制度そのものの必要性、また、対象者に応じた給付枚数とするべきか委員の意見を伺いたい。		
事業概要	<p>長久手市障がい者タクシー料金助成事業実施要綱に基づき、障がい者の家計の経済的軽減及び外出促進を目的とし、対象となる障がい児・者に利用券(1乗車上限650円、年間52枚利用可能)を交付するもの。 (対象となる障がい児・者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳1級、2級及び下肢・体幹機能障害3級所持者 ・療育手帳A判定及びB判定所持者 ・精神障害者福祉手帳1級及び2級所持者 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の制度であり、財政負担が大きい。 ・一律52枚の交付としており、利用実態(利用目的などの利用状況・内容)が分析できていない。 		
課題に対する 担当課意見	<p>現在、多くの方が手帳の交付時に併せて申請し、交付を受けている。交付を受けた方のうち、4割近くが利用券を1枚も使っていない。一方で、40枚以上使っている人が一定数いる状況である。</p> <p>障がいのある方の中には、今は家族等の支援者により車や公共交通機関で外出ができていても、支援者の状況が変わればタクシーを利用する機会が増えることが十分考えられる。必要ときに使うことができるよう、当面は引き続き、現行の対象者に52枚／年を配布することとしたい。</p> <p>今後、障がい別の利用状況、乗降車地といった情報が収集ができるよう、利用券の書式改正や情報整理を進め、今後の事業改善に向けて利用状況を注視していく。</p>		
課題に対する 行革担当課意見	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から、利用実態(利用目的などの利用状況等)について調査しているが、どのように変化しているのか比較するためにも、今後も継続して調査されたい。 ・本当に必要な人に必要なだけ行き渡るよう、一律52枚配布について見直されたい。 ・例えば、プレミアムチケットのような負担割合(10,000円で12,000円分のチケットが購入できる。)や1割負担とするなど、負担割合について見直されたい。 		
バックデータ	<p>【令和元年度の実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算額: 3,417,150円(助成額(扶助費)) + 126,500円(利用券印刷費) ・利用実績: 利用人数275人、利用率27.7% (配布人数436人、配布率44.0%) 平均利用枚数 21枚／人(利用人数ベース) ・40枚以上の利用者57人(うち45人が身体障がい(半数以上が1級)、12人が精神障がい) ・初乗り～2.5km程度の短距離移動の利用者が半数程度。 <p>【参考: 対象者数(H31.4.1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい581人(1級344人、2級135人、3級(下肢・体幹)102人)、精神障がい262人(1級49人、2級213人)、療育149人(A判定89人、B判定60人)の計992人 		